

スキトレ企画書

作成日： 2023年 5月10 日

校名：原田校

企画者： 浦

活動名：SST ゲーム

本活動の着眼点

相手の気持ちや社会的ルールを理解し、日常場面で行動ができるようになる

生活上の困り感/目的・趣旨(ねらい)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・社会的ルールが守れない・すぐにイライラ、怒ってしまう・相手の感情が分からない | <ul style="list-style-type: none">・相手の気持ちを考えながら行動してみる・他の子と考えの違いについて知る・成功体験により自信を持つ・コミュニケーション能力を育む・社会生活に必要なスキルを身につける |
|---|---|

作業の特色

- ・ほかの子と認知のゆがみに対するの比較ができる
- ・社会生活を過ごすにあたっての社会的ルールを学べる
- ・どのような行動が嫌な気持ちになるのか客観的に考えれる
- ・感情のコントロールが身につく
- ・成功体験を得ることで自信につながる

活動の概要

【場所】

各校活動場所

【日時・所要時間】

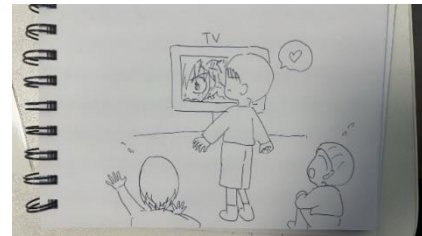
約20分～40分程度

【対象者】

- ・相手の気持ちや考えを汲み取ることが苦手な子
- ・他者とのコミュニケーションが苦手な子
- ・社会的スキルが備わっていない子

【必要な道具】

- ・SST 絵カード (各校準備)
- ・ホワイトボード
- ・マーカー



活動の進め方

【進行方法・ルール】

スキトレ企画書

SST を遊びとして取り入れることで子どもたちが参加しやすくかつ楽しみながら生活技能を学べ社会性を身につける。

実際に起こりそうな場面を絵カードに書きどのような場面、相手の感情など絵から子どもたちに聞いていく。感情に間違いはないため否定はしない。ただ一般的な解決方法を職員が調整しまとめることで認知のズレを無くしていく。

ミッション開始前に準備物を用意し、10分前から活動の声掛けを行う。

ミッション開始時間になれば活動部屋でルール説明をした後、実際に活動を行う。

(ルール)

- ・発言は何人かに偏らないように職員で調整し、なるべくみんなの意見を聞く。
- ・ほかの人の意見も聞き意見に対して否定をしない。
- ・ほかの人が話しているときは静かに聞く。
- ・できそうであればその場面に沿ってみんなで実演を試みる。
- ・先生の話をよく聞く。

15:40～活動準備

15:50～活動の呼びかけ

16:00～活動開始

16:40～活動終了～片づけ

【進行上の留意点】

- ・発言が少ない子には無理のない程度に発言の機会を促す
- ・実演が難しい子には職員のサポートを入れながら行う
- ・ほかの子の発言に対して否定的な発言がある子には都度声掛けを行う
- ・間違いはないことを理解してもらうことで発言しやすい環境を作る

【役割：OT、スタッフ】

進行：ミッション担当者

見守り・誘導：スタッフ1名

スタッフの着目点

- ・子供がどのような考え方をしているのか
- ・社会的場面で適切な行動ができているのか
- ・感覚が違う子に対してどれほどずれているかを把握する

活動を行う上での注意点

- ・喧嘩にならないように見守り・声掛けを行う
- ・みんなの考えを聞く

苦手意識のある児童への配慮点

- ・考えがまとまらない子にはスタッフが手助けをする
- ・間違いはないことを説明し環境設定を整える

スキトレ企画書

・みんなが発言できるようにスタッフが声掛けを行う
予算
・ SST カード (自作) ・ ホワイトボード ・ マーカー
計 0円
その他
特になし